

実社会の課題と向き合い、地域を学びの場に成長し続ける高校

生徒像
育てたい

- 探究的な学びにより身に付けた力で自分の未来を積極的にデザインできる生徒
- 他者や社会と主体的に協働できる、コミュニケーション力を持った生徒
- 多様な他者とながら、新しい価値を生み出し、よりよい社会実現のために学び続ける生徒

学校像
目指す

- 地域をフィールドとした探究的な学びをとおして、課題発見解決能力を育む
- 学科や学年を超えた協働的な学びをとおして、キャリアデザイン力^{*1}を育む
- 地域とともに学び、主体的に地域の未来を創造する力を育む

地域の未来を、地域の方々と共に創る
コミュニティデザインハイスクール^{*2}



4 学科の連携で地域の未来づくりに参画



学びの柱

- ◆ 実体験をとおして、自分と地域の未来を創造する学びを展開
- ◆ 各科の学びの成果をもとに協働的な探究を実施
- ◆ 情報リテラシー^{*4}を徹底して学習し、いつでも、どこでも、ICT^{*5}を積極的に活用

具体的な取組

- 校外学習、校外活動の単位認定（ボランティア、大学の講義、海外留学など）
- 全学科でのデュアルシステム^{*6}（校外での実践的な学び）
- 世代を超えた交流学习（中学校との合同探究発表会、地域への公開講座など）
- 生徒自らが学校を創造していく自主的活動（生徒会活動と部活動）
- 探究の学びを深化させる「地域連携コーディネーター^{*7}」が校内に常駐
- 地域との協働による生涯学習の拠点づくり

単位制

連携

学科の枠を超え、他科の専門科目も履修して自身の学びを深化
学校を飛び出してのアクティブな探究活動を学びの中心に
コミュニティデザイン^{*2}を研究する国内外の大学との連携
地域を学ぶ国内外の高校生と交流

地域の方々との共同研究

新校が生涯学習の拠点

須高地域共学共創コンソーシアム^{*8}

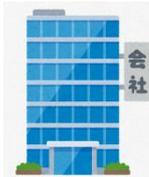
大学・専門学校

医療・福祉機関

地元企業・商工会

自治体

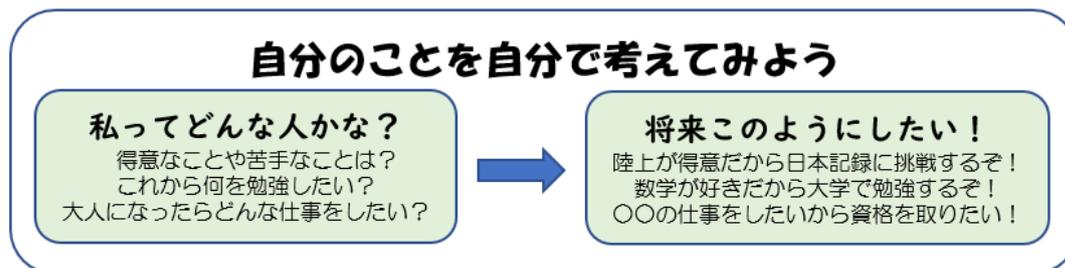
研究機関



<用語解説>

*1 キャリアデザイン

自分がどのような人間なのかを考え（自己分析）、自分の進むべき道（進路）を考え、自分にとってふさわしい未来（＝キャリア）を、自分自身で考えていくこと。



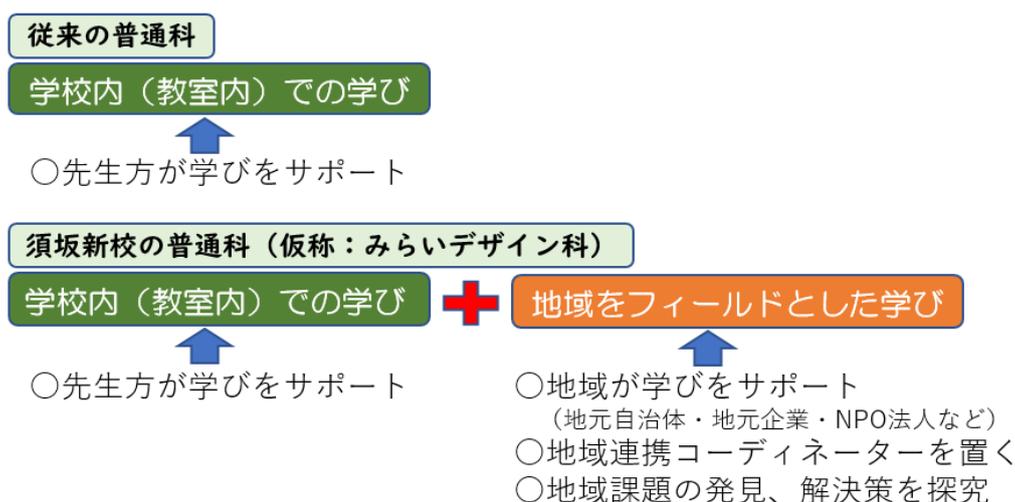
*2 コミュニティデザインハイスクール

「人と人がつながる」というコミュニティデザインの理念のもとで、設置する4学科が連携・融合し、研究の成果を地域の課題解決や未来づくりのために企業や自治体に提言することで高校生が地域の未来づくりに主体的に参画していく、という新校の姿を表現した言葉。



*3 新たな普通科

高等学校における「普通教育を主とする学科」の弾力化（高等学校設置基準及び高等学校学習指導要領の一部改正）により、特徴的な学びをする普通科が設置可能になった。須坂新校では「地域社会に関する学科」として「みらいデザイン科（仮称）」を設置し、地元自治体を中心とする地域社会が抱える諸課題に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために現在および将来の地域社会の課題や魅力に着目した実践的な特色・魅力ある学びに重点的に取り組んでいく。



*4 情報リテラシー

情報を適切に収集、評価、利用、発信する能力のこと。情報を読み取る力のこと。



*5 ICT

情報通信技術。情報技術の「IT (Information Technology)」に通信の「C (Communications)」を組み合わせた用語。



*6 デュアルシステム

産業現場での長期の就業体験を教育課程に位置付け、学校の授業と併用して学習する産業教育の仕組み。産業界と高校が連携をとりながら協働で人材を育成する教育システムを構築し、効果的に事業を推進するために、学校・地元自治体・産業界関係団体による連携協議会の設置やコーディネーターを置くことが多い。



*7 地域連携コーディネーター

新校が地域をフィールドとした学びを展開していくにあたり、学校と地域を結びつけるための窓口の役割を担う。生徒が地域に関する事を相談したり、地域の方から学びへの協力の相談を受けるなど、教員とともに生徒の学びをサポートしていく。



*8 共学共創コンソーシアム

高校生・行政機関・産業界・大学や専門学校・研究機関・地域住民らが協働する仲間、共同体のこと。参加者が当事者意識を持って参画し、対等な立場で共に学び合い、共に創り上げる協働活動を通じて、新校の学びをサポートしていく。このコンソーシアムが連携・協働する組織や環境が共学共創プラットフォームであり、地域社会全体の教育力の向上を目指す。

